

施工状況等報告書

平成 28 年 1 月 29 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様
小諸市長 柳田 剛彦 様
御代田町長 茂木 祐司 様
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	平成 27 年 10 月 1 日から 平成 27 年 12 月 31 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	平成 27 年 11 月 26 日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。現在、造成工事費の積算を行い、精査を実施している。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間：平成27年10月1日～平成27年12月31日

環境影響評価項目	保全対象種	措置項目	措置内容	添付書類
植物	ヤエガワカンバ	成木・稚樹の移植	10月15日に移植個体の樹木活力度調査を実施するとともに、有識者（長野県植物研究会会長・中山冽氏）に生育状況を確認していただき、ヤエガワカンバの生育環境等についてアドバイスを受けた。 葉の密度や新しい枝葉にも異常はなく、順調に活着していると判断される。	写真ヤエー1,2
			11月10日に移植個体の樹木活力度調査を実施。 ほとんど落葉しているが、生育状況に異常は見られない。	写真ヤエー3
			12月31日に移植個体の状況確認。 生育状況に異常は見られない。雄花と冬芽形成を確認。	写真ヤエー4
		種子保存及び播種・育苗	10月15日に播種後の状況確認。 プランターの実生6個体は樹高も1.5～9.5cmに生長し、葉も順調に展開しているが、床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー5,6
			11月10日に播種後の状況確認。 プランターの実生6個体は樹高が0.6～9.8cmで、根元から折れたり、落葉のため樹高が低くなった個体もあるが、冬芽の形成も見られる。床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー7
			12月24日に播種後の状況確認。 プランターの実生6個体は樹高が0.1～9.6cmで、根元から折れた1個体を除き、冬芽形成の状態である。床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー8
	オニヒョウタンボク	成木の移植	10月15日に移植個体の樹木活力度調査を実施するとともに、有識者（長野県植物研究会会長・中山冽氏）に生育状況を確認していただき、オニヒョウタンボクの生育環境等についてアドバイスを受けた。 No.7は落葉が進み、他の個体は生育状況に変化は見られない。	写真オニー1,2
			11月10日に移植個体の樹木活力度調査を実施。 ほとんどの移植個体が落葉し、冬芽を形成している。	写真オニー3
			12月31日に移植個体の状況確認。 移植個体に異常は見られない。	写真オニー4
		種子保存及び播種・育苗	10月15日に播種した種子の状況確認。 オニヒョウタンボクと思われる芽生え（双子葉）がプランター蒔きで17個体、床蒔きで16個体を確認した。	写真オニー5,6
			11月10日に播種した種子の状況確認。 オニヒョウタンボクと思われる芽生え（双子葉）がプランター蒔きで21個体、床蒔きで19個体を確認した。	写真オニー7,8
			12月24日に播種した種子の状況確認。 オニヒョウタンボクと思われる芽生え（双子葉）がプランター蒔きで21個体、床蒔きで11個体を確認した。	写真オニー9,10
		挿し木	11月10日に挿し木用の挿し穂を採取（17本）。	写真オニー11
			11月12日に採取した挿し穂17本のプランターへの挿し木を実施。	写真オニー12
			12月24日に挿し木の状況確認。 挿し木の状況に変化は見られない。	写真オニー13

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

植 物	ギンラン	(追加項目) 個体の移植	10月15日に有識者（長野県植物研究会会長・中山洵氏）にギンランの生育状況を確認していただき、移植方法と森林整備の方法についてアドバイスを受けた。	写真ギン-1
			11月24日に移植作業等計画書に基づき、平成27年度に確認されたギンランの個体及び個体周辺の土壌の移植を実施。 移植には大型の鋼管（径800mm×高さ500mm、鉄板の厚み10mm）及び鋼管の底部に入れる鉄板（100mm×100mm、鉄板の厚み8mm）を用いて、バックホーにより移植作業を慎重に行い、ギンランの個体や土壌への損傷もなく、無事に直近への移植が完了した。	写真ギン-2～5
			12月2日に移植個体の状況確認。 移植個体に異常は見られない。	写真ギン-6
動 物	ベニモンマダラ	生息基盤（クサフジ）の移植	10月15日に有識者（長野県植物研究会会長・中山洵氏）にクサフジの生育状況を確認していただき、移植方法についてアドバイスを受けた。	写真ベニ-1
			10月22日に移植元の法面保護ネットの確認。 クサフジ（ベニモンマダラ）移植元法面の所有者より、法面全体に保護ネットを埋設してあるとの連絡を受けため、現地確認を行い、地表面から3～4cmの深さにワイヤー製の線径約2mmの法面保護ネットを確認した。このため、計画していた表土移植は困難であると判断し、代替案として、近日中にクサフジの種子採取を行い、秋季から晩秋に播種し、来年の5月下旬～6月に終齢幼虫から蛹の時期を迎えるベニモンマダラを移植する方向で検討することとした。	
			10月27日にクサフジの種子を採取。 種子の採取は表土移植を検討していた法面及び、佐久スキーガーデンパラダのクサフジが自生しているスキー場法面の2箇所で行った。	写真ベニ-2
			11月24日にクサフジの種子を播種。 移植作業等計画書に基づき、採取したクサフジの種子をベニモンマダラの移植先である平尾用水の法面に播種した。 播種に当たって、法面の除草、石の除去、播種場所（面積50cm四方、客土厚み10cmを目安）11箇所の創出、客土転圧、種子播種（播種場所1箇所当たり約200粒）、播種範囲の枠囲いを行い、種子の播種作業が完了した。	写真ベニ-3, 4
			12月2日に種子播種後の状況確認及びポットへのクサフジの種子播種。 霜が降りたため、発芽の確認はできない。	写真ベニ-5
	12月24日にポットへの種子播種後の状況確認。 発芽は見られない。	写真ベニ-6		
	クリイロベッコウ	生息基盤の移植	10月27日に生息基盤の移植を実施。 平成25年に生貝と死貝を確認した2箇所の生息基盤（落ち葉と表土）をかき集め、移植先（対象事業実施区域の南東側落葉広葉樹林内及び対象事業実施区域北東側の落葉広葉樹林内の2箇所）へ搬送して敷均しを行った。	写真クリ-1～3

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H27.10.15
	有識者ヒアリング 長野県植物研究会会長・中山 洌氏に生育状況を確認してい ただき、ヤエガワカンバの生 育環境等についてアドバイ を受けた。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	H27.10.15
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 順調に活着している。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	H27.11.10
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) ほとんど落葉しているが、生 育状況に異常は見られない。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	H27.12.31
	移植個体の状況確認 (任意確認) 生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	H27.10.15
	播種の実施6ヶ月後の状況 (プランターへの播種) ヤエガワカンバの実生(赤 テープの箇所) 樹高が伸びている(1.5~ 9.5cm)。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	H27.10.15
	播種の実施6ヶ月後の状況 (床蒔き) 7月に実生を確認したが消失 した。枯れたものと思われる。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-7
	撮影日	H27.11.10
	播種の実施7ヶ月後の状況 (プランターへの播種) ヤエガワカンバの幼木(赤 テープの箇所) 樹高が伸びている(0.6～ 9.8cm)。根元から折れたり落 葉のため、樹高が低くなった 個体もあるが、冬芽の形成も 見られる。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-8
	撮影日	H27.12.24
	播種の実施8ヶ月後の状況(プ ランターへの播種) ヤエガワカンバの幼木(赤 テープの箇所) 樹高は0.1～9.6cm。根元から 折れた1個体(No.2)を除き、冬 芽形成の状態。	

環境保全措置実施状況写真

	保全対象種 オニヒヨウタンボク
	写真番号 オニ-1
	撮影日 H27.10.15
	有識者ヒアリング 長野県植物研究会会長・中山 洌氏に生育状況を確認していただき、オニヒヨウタンボクの生育環境等についてアドバイスを受けた。
	保全対象種 オニヒヨウタンボク
	写真番号 オニ-2
	撮影日 H27.10.15
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) No.7は落葉が進み、他の個体は生育状況に変化は見られない。
	保全対象種 オニヒヨウタンボク
	写真番号 オニ-3
	撮影日 H27.11.10
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) ほとんどの移植個体が落葉し、冬芽を形成している。

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	H27.12.31
	移植個体の状況確認 (任意確認) 生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	H27.10.15
	播種した種子の状況確認 (プランターへの播種) オニヒョウタンボクと思われる 芽生え(双子葉)を17個体確 認。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-6
	撮影日	H27.10.15
	播種した種子の状況確認 (床蒔き) オニヒョウタンボクと思われる 芽生え(双子葉)を16個体確 認。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-7
	撮影日	H27.11.10
	播種した種子の状況確認 (プランターへの播種) オニヒョウタンボクと思われる 芽生え(双子葉)を21個体確 認。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-8
	撮影日	H27.11.10
	播種した種子の状況確認 (床蒔き) オニヒョウタンボクと思われる 芽生え(双子葉)を19個体確 認。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-9
	撮影日	H27.12.24
	播種した種子の状況確認 (プランターへの播種) オニヒョウタンボクと思われる 芽生え(双子葉)を21個体確 認。	

環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> </table>	保全対象種	オニヒョウタンボク
保全対象種	オニヒョウタンボク		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-10</td> </tr> </table>	写真番号	オニ-10
写真番号	オニ-10		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H27.12.24</td> </tr> </table>	撮影日	H27.12.24
撮影日	H27.12.24		
	<p>播種した種子の状況確認 (床蒔き)</p> <p>オニヒョウタンボクと思われる芽生え(双子葉)を11個体確認。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> </table>	保全対象種	オニヒョウタンボク
保全対象種	オニヒョウタンボク		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-11</td> </tr> </table>	写真番号	オニ-11
写真番号	オニ-11		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H27.11.10</td> </tr> </table>	撮影日	H27.11.10
撮影日	H27.11.10		
	<p>挿し木用の挿し穂採取。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> </table>	保全対象種	オニヒョウタンボク
保全対象種	オニヒョウタンボク		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-12</td> </tr> </table>	写真番号	オニ-12
写真番号	オニ-12		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H27.11.12</td> </tr> </table>	撮影日	H27.11.12
撮影日	H27.11.12		
	<p>プランターへの挿し木実施</p> <p>挿し木後の状況。</p>		

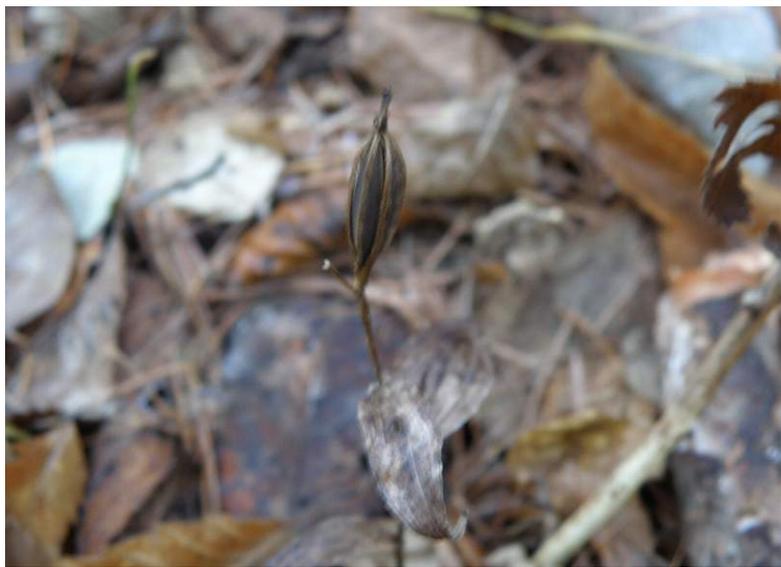
環境保全措置実施状況写真

	保全対象種	オニヒヨウタンボク
	写真番号	オニ-13
	撮影日	H27.12.24
	挿し木の状況確認	挿し木後の状況に変化は見られない。

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	H27.10.15
<p>有識者ヒアリング</p> <p>長野県植物研究会会長・中山 洌氏にギンランの移植方法と 森林整備方法についてアドバ イスを受けた。</p>		
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	H27.11.24
<p>ギンランの個体移植</p> <p>鉄板の四隅にワイヤーを掛 け、移植先へ移動。</p>		
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-3
	撮影日	H27.11.24
<p>ギンランの個体移植</p> <p>移植先への設置完了。</p>		

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-4
	撮影日	H27.11.24
	ギンランの個体移植 鋼管周囲の表土埋め戻し作 業。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-5
	撮影日	H27.11.24
	ギンランの個体移植 ギンランと生育表土の移植完 了。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-6
	撮影日	H27.12.2
	移植個体の状況確認 (任意確認) 生育状況に異常は見られな い。	

環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-1</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-1
写真番号	ベニ-1		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H27.10.15</td> </tr> </table>	撮影日	H27.10.15
撮影日	H27.10.15		
	<p>有識者ヒアリング</p> <p>長野県植物研究会会長・中山 洌氏にクサフジ(ベニモンマダラ)の移植方法についてアドバイスを受けた。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-2</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-2
写真番号	ベニ-2		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H27.10.27</td> </tr> </table>	撮影日	H27.10.27
撮影日	H27.10.27		
	<p>クサフジの種子採取</p> <p>種子の採取は表土移植を検討していた法面及び、佐久スキーガーデンパラダのクサフジが自生しているスキー場法面の2箇所を実施した。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-3</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-3
写真番号	ベニ-3		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H27.11.24</td> </tr> </table>	撮影日	H27.11.24
撮影日	H27.11.24		
	<p>クサフジの種子播種</p>		

環境保全措置実施状況写真

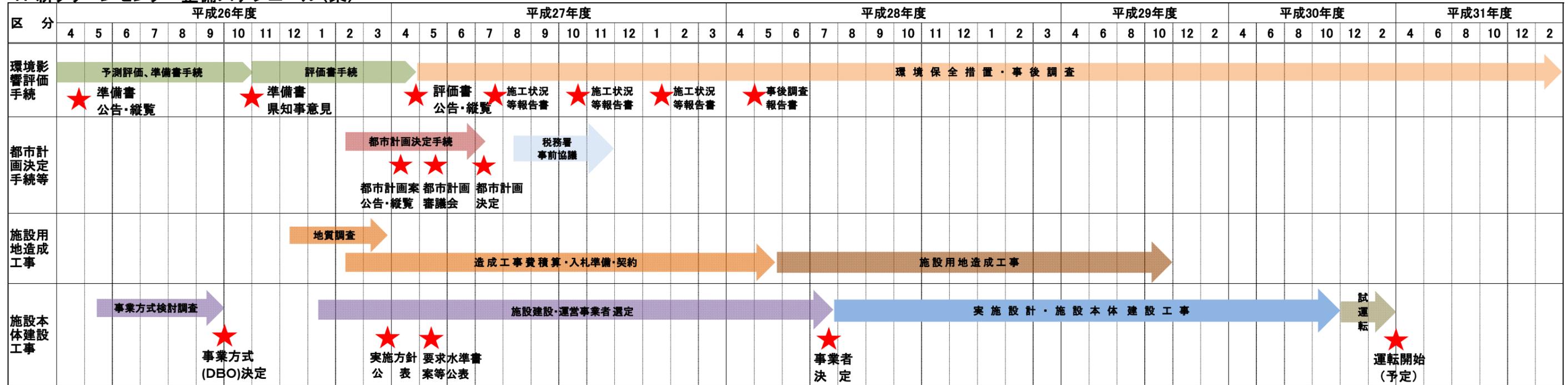
	保 全 対 象 種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-4
	撮 影 日	H27.11.24
	クサフジの種子播種作業完了。	
	保 全 対 象 種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-5
	撮 影 日	H27.12.2
	平成27年11月24日に播種した種子の発芽状況確認 霜が降り、発芽の状況は確認できない。	
	保 全 対 象 種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-6
	撮 影 日	H27.12.24
	平成27年12月2日にポットに播種後の状況確認 発芽は見られない。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	クイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-1
	撮影日	H27.10.27
	クイロベッコウの移殖元 (H25年の生貝捕獲地点)にお ける生息基盤(落ち葉と表土) の採取。	
	保 全 対象種	クイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-2
	撮影日	H27.10.27
	クイロベッコウの移殖元 (H25年の死貝確認地点)にお ける生息基盤(落ち葉と表土) の採取。コンテナとコンテナ バッグに詰めて、移殖先(対象 事業実施区域の北東側落葉 広葉樹林内)へ移動。	
	保 全 対象種	クイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-3
	撮影日	H27.10.27
	クイロベッコウの移殖先(対 象事業実施区域の北東側落 葉広葉樹林内)における生息 基盤(落ち葉と表土)の敷均し 作業。	

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)



2. 対象事業の実施状況一覧

年 度 回 数 報 告 対 象 期	平成27年度				平成28年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】 平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】 造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】 平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】 造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】 平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】 造成工事費の積算を行い、精査を実施している。					
年 度 回 数 報 告 対 象 期	平成29年度				平成30年度			
	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～10月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月	
実施状況								